

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

異常絞扼反射根治プログラムの治療効果の検討:後ろ向き研究

2. 研究の対象患者

旭中央病院の症例で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・ 選択基準

- 1) 歯科外来にて異常絞扼反射に対する治療プログラムを受けた患者さん
- 2) 治療計画について理解ができ、治療方針に同意することができていた患者さん
- 3) 性別不問

・ 除外基準

- 1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2023年4月1日～2025年8月31日

4. 研究の概要

異常絞扼反射は一般歯科診療だけでなく、義歯などの補綴治療や日々のセルフケアも困難にする。静脈内鎮静などによって一時的に対処する方法は報告されているが、永続的にコントロールする治療法は確立されておらず、またどのような症例に対して効果があるのかや、どこまで改善するのかの検討はまだされていない。

近年、超音波ガイド下選択的舌咽神経ブロックと系統的脱感作を組み合わせたプログラム(以下、治療プログラム)が発表された。本研究では、重度異常絞扼反射に対する治療プログラムの効果を検討したい。

本研究では治療プログラム介入前後の異常絞扼反射が起こる状態に主眼を置き、当院にて治療プログラムを受けた患者の術後経過および診療録をもとに後ろ向きに調査することにより、治療プログラムの有効性について検討する。

5. 研究実施予定期間

2025年9月17日～2026年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者背景:生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、入退院日、手術名・手術日、診断名、神経ブロックの施行内容(局所麻酔の種類と量)、異常絞扼反射の程度、異常絞扼反射が惹起される範囲

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者： 麻酔科 小島佑貴
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)